

令和7年10月21日

毒キノコによる食中毒の発生について

令和7年10月19日（日）午前0時頃、市内医療機関より「採取したキノコを調理・喫食した福島市民が嘔吐・下痢の症状を呈して受診中である」との報告を受け調査した結果、毒キノコによる食中毒と断定しましたのでお知らせします。

つきましては、「判別できないキノコは①採らない②食べない③人にあげない（売らない）」について、市民への注意喚起をお願いします。

記

- 原因食品** キノコのバター炒め
※採取したキノコを患者自宅で調理し、10月18（土）の夕食で喫食した。
- 病因物質** 植物性自然毒【毒キノコ ツキヨタケ（推定）】
- 発症年月日** 令和7年10月18日（土）
- 患者数** 計2名 男性：50代 1名、70代 1名
- 主症状** 吐気、嘔吐、下痢 ※現在は2名とも回復

【参考】

（1）主な毒キノコの種類と症状（別紙参照）

毒キノコの種類	間違えやすい食用きのこ	主な症状
ツキヨタケ	ムキタケ、ヒラタケ、シイタケ	嘔吐、下痢、腹痛
クサウラボニタケ	ウラボニホテイシメジ、ホンシメジ、ハタケシメジ	嘔吐、下痢、腹痛
テングタケ	—	嘔吐、下痢、腹痛 *過去に死亡事例あり
ドクツルタケ	—	嘔吐、下痢、腹痛の症状が出た後、肝臓・腎機能障害が現れ死亡する場合がある

（2）「キノコ」による食中毒予防の3原則

食用のキノコだと確実に判断できないキノコは採らない、食べない、人にあげない（売らない）を徹底して、食中毒を予防しましょう。

（3）野生キノコの出荷制限について

現在、福島市で採取される「野生キノコ※」は、国から出荷制限が指示されています。

※福島県の定める出荷・検査方針に基づき管理されるナメコ、ナラタケ、ムキタケ、マツタケ、クリタケを除く。

<本市管内における食中毒の発生状況>

	発生件数	患者数	死亡者数
令和7年1月1日～10月21日現在（本件を含まない）	3件	36名	0名
令和6年1月1日～10月21日（昨年同期）	3件	113名	0名
令和6年1月1日～12月31日	3件	113名	0名

担当：保健所衛生課 食品衛生係
課長 木幡、係長 八巻
電話 024-597-6358（直通）

毒

キノコに要注意！

食中毒は毎年発生！危険なキノコが身近にあります

絶対

食用のキノコだと確実に判断できないキノコは

**採らない！ 食べない！
売らない！ 人にあげない！**

- ◆ キノコを食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を！
- ◆ 気温の高い夏の後に適度な降雨があり、朝晩の気温が低下すると、多くのキノコが発生する可能性があります

ツキヨタケ



中毒症状

食後30分-1時間程度で嘔吐、下痢、腹痛等の中毒を起こす。

間違えやすい食用きのこ

- ・ヒラタケ
- ・ムキタケ
- ・シイタケ

テングタケ

中毒症状

食後30分程で嘔吐、下痢、腹痛など胃腸消化器の中毒症状が現れる。



神経系の中毒症状、瞳孔の収縮、発汗、めまい、痙攣等で、呼吸困難になる場合もあり、1日程度で回復するが、古くは死亡例もある。

クサウラベニタケ



中毒症状

食後20分-1時間程度で嘔吐、下痢、腹痛等の消化器系の中毒を起こす。唾液の分泌、瞳孔の収縮、発汗などの症状も現れる。

間違えやすい食用きのこ

- ・ウラベニホテイシメジ
- ・ホンシメジ
- ・ハタケシメジ

ドクツルタケ

中毒症状

食後6-24時間程度でコレラ様の症状（嘔吐、下痢、腹痛）が現れるが1日でおさまる。



その後24-72時間程度で内臓の細胞が破壊され肝臓肥大、黄疸、胃腸の出血などの肝臓、腎機能障害が現れ、死亡する場合があります。

※出典：厚生労働省ウェブサイト（自然毒のリスクプロファイル）

毒キノコによる食中毒発生状況（平成27年～令和6年）

キノコの種類	間違えやすい食用キノコの例 （「自然毒のリスクプロファイル」より）	事件数	患者数	死者数
ツキヨタケ	ヒラタケ、ムキタケ、シイタケ	110	305	0
クサウラベニタケ	ウラベニホテイシメジ、ホンシメジ、ハタケシメジ	※35	※102	※0
テングダケ	—	16	26	0
ドクササコ	ナラタケ、ホテイシメジ、アカハツ、チチタケ	7	13	0
イボテングタケ	—	4	5	0
カキシメジ	ニセアブラシメジ、チャナメツムタケ、シイタケ	9	30	0
イッポンシメジ	—	※4	※7	※0
オオシロカラカサタケ	—	10	16	0
ニガクリタケ	ナメコ、クリタケ、ナラタケ、ナラタケモドキ	0	0	0
オオワライタケ	—	0	0	0
ニセショウロ	—	2	3	0
ハイイロシメジ	—	1	3	0
ヒカゲシビレタケ	シロマツタケモドキ、ハラタケ、ツクリタケ	1	2	0
タマゴダケモドキ	キタマゴタケ	2	2	0
ドクツルタケ	シロマツタケモドキ、ハラタケ、ツクリタケ	※※3	※※4	※※2
ニセクロハツ	クロハツ、クロハツモドキ	2	2	1
オオシビレタケ	—	0	0	0
カブラアセタケ	—	1	1	0
その他	—	※※15	※※38	※※1
不明	—	15	38	1
合計		237	597	5

※イッポンシメジ、クサウラベニタケが疑われるのでイッポンシメジ、クサウラベニタケの両方に計上している（R3年）。
※※ドクツルタケ、コテングタケモドキが疑われるので、両方に計上している（R6年）。

【自然毒のリスクプロファイル】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html

- 有毒植物にも、ご注意ください
→ [有毒植物による食中毒に注意しましょう](#)
- 代表的な有毒植物と毒キノコの特徴は
→ [「自然毒のリスクプロファイル」](#)をご覧ください。
- 一部地域で、キノコから基準値を超える放射性物質が検出されています。
→ キノコ狩りをする場合は、
[放射性物質のモニタリング検査結果や出荷制限などの情報](#)
をウェブサイト等で、確認してください。
→ 林野庁ウェブサイト「[きのこや山菜の出荷制限等の状況について](#)」